

# JAF 認定「エアロビック技能検定員」

## 〔実施カリキュラムの概要〕

### 【講習の目的】

エアロビック技能検定(エアロビック検定、マスターズ検定、ジュニア検定)の評価ポイントの理解や採点法を習得し、各検定の審査にあたる技能検定員を養成する。

	カリキュラム内容	時間	概 要
エアロビック検定／マスターズ検定の評価	JAF 概要と技能検定制度について	1h	JAF の組織と活動内容、技能検定制度の意義及び、技能検定システムと技能検定員の役割、心得を理解する。
	検定の評価法	1h	エアロビック検定、マスターズ・エアロビック検定の評価方法を理解する。
	ベーシックプログラムの評価法 1	1.5h	ベーシックプログラム(10級～8級)の課題動作のポイントを理解し、その評価方法を学習する。
	ベーシックプログラムの評価法 2	2h	ベーシックプログラム(7級～4級)の課題動作のポイントを理解し、その評価方法を学習する。
	ベーシックプログラムの評価法 3	1h	ベーシックプログラム(3級～2級)の課題動作のポイントを理解し、その評価方法を学習する。
	フリープログラムの評価法	1.5h	フリープログラムの動きのポイントを理解し、評価方法を学習する。
ジュニア検定の評価	ジュニア検定概要	1h	ジュニア検定システムの概要を理解し、ジュニア検定の技術構造と技術段階を知る。
	課題動作と評価法 1	2h	ジュニア検定(J-5級～J-4級)の課題動作のポイントを理解し、評価方法を学習する。
	課題動作と評価法 2	2h	ジュニア検定(J-3級～J-1級)の課題動作のポイントを理解し、評価方法を学習する。
共通	検定会の管理と運営	1h	実施計画の立て方と進行方法など、検定会の管理と運営方法について理解する。
	理論試験	1h	技能検定の目的や検定の留意点に関する理解度を評価する。
	実技試験	1h	映像を使ってエアロビック検定、マスターズ検定、ジュニア検定の採点シュミレーションを行い、採点技術度を評価する。
合 計		16h	

- 1) 講習は全て座学で実施。
- 2) レポート課題(800字程度2題)の提出。
- 3) この他、課題動作の理解として自宅学習 20 時間が必要。